平成25年度　第3次札幌新まちづくり計画施策進行調書

様式ア

政策目標	2	安心して暮らせるぬくもりの街
重点課題	1	市民とともに災害に備えるまちづくり

施策の基本方針

災害に強いまちづくりを進めるため、東日本大震災の被害状況などを踏まえ、札幌市の防災体制のあり方を見直し、学校の耐震補強などハード面の整備や備蓄物資の適正な配置など計画的な災害対策を講じます。また、災害発生時に市民みんなの助け合いで被害の最小化を図ることができるよう、自主的防災組織の活性化など地域防災力を高めるための取り組みを進めます。

政策目標	2	安心して暮らせるぬくもりの街
重点課題	1	市民とともに災害に備えるまちづくり

計画事業費の執行状況

施策番号	事業名	計画事業費	事業費(単位:千円) 23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	26年度(予算)	合計	進捗率(%)
施策1	地域防災力を結集した災害対策							
	地域防災計画修正	47,000	9,609	20,632	15,000		45,241	96.3
	避難場所環境整備	833,000	280,316	294,074	183,600		757,990	91.0
	土砂災害ハザードマップ作成	7,000	1,838	771	2,760		5,369	76.7
	防災行政無線更新整備事業	295,000	4,935	5,860	45,000		55,795	18.9
	防災普及啓発事業	58,000	7,753	8,765	12,838		29,356	50.6
	災害時における活動支援教育事業	10,000	0	6,508	1,500		8,008	80.1
	札幌市民防災センターリニューアル事業	98,000	0	92,550	0		92,550	94.4
	多文化共生推進事業【再掲】	12,900	1,554	2,436	2,900		6,890	53.4
	地域による防災力強化支援事業　※数値は各区の事業で掲載	—	—	—	—		—	—
施策2	災害に強い安全なまちの整備							
	市有建築物耐震化の推進	1,519,000	13,054	24,174	727,700		764,928	50.4
	市有建築物の改築等【再掲】	2,713,000	759,088	1,622,161	421,800		2,803,049	103.3
	学校施設耐震補強事業	8,290,000	363,549	3,029,942	4,522,000		7,915,491	95.5
	学校施設改築事業【再掲】	20,756,000	3,141,622	7,110,988	5,277,985		15,530,595	74.8
	白石区複合庁舎整備事業【再掲】	4,306,000	12,252	63,384	78,000		153,636	3.6
	災害に強い道づくり事業	13,417,000	2,474,700	3,708,651	5,124,465		11,307,816	84.3
	下水道施設の災害対策	4,051,000	658,754	738,767	861,484		2,259,005	55.8
	緊急貯水槽整備事業	461,000	0	11,542	194,400		205,942	44.7
	水道施設耐震化事業	5,526,000	471,303	761,724	1,041,131		2,274,158	41.2
	災害時重要施設(医療機関)へ向かう配水管の耐震化	2,042,000	377,781	962,383	648,007		1,988,171	97.4
	交通局建築施設の耐震化事業	1,432,000	147,676	93,299	366,221		607,196	42.4
	民間建築物耐震化促進事業	400,000	36,155	51,623	112,170		199,948	50.0
	本庁舎非常用発電設備更新整備	328,000	11,890	292,529	0		304,419	92.8
	収容避難施設の防災機能の強化	50,000	0	0	29,700		29,700	59.4
	災害時における消防体制強化事業	71,000	0	40,689	30,710		71,399	100.6
	石狩振興局管内消防救急デジタル無線共同整備事業	4,698,000	705,214	2,234,592	675,000		3,614,806	76.9
	消防指令システム整備事業	2,145,000	501,113	809,459	797,144		2,107,716	98.3
	地下水活用システム整備事業	50,000	294	40	12,300		12,634	25.3
重点課題合計		73,615,900	9,980,450	21,987,543	21,183,815	0	53,151,808	72.2

注:事業費下線部は、前年繰り越し分を含めた額

平成25年度 第3次札幌新まちづくり計画施策進行調書

政策目標	2	安心して暮らせるぬくもりの街
重点課題	1	市民とともに災害に備えるまちづくり

達成目標の状況

	事業名 達成目標	22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)
施策1	地域防災力を結集した災害対策						
地域防災計画修正							
1	地域防災計画(津波災害対策編)の策定	—	調査	パンフレット原稿作成			策定 (24年度)
2	地域防災計画(原子力災害対策編)の策定	—	調査	策定			策定 (24年度)
避難場所環境整備							
3	避難場所整備計画の見直し	—	調査	策定			見直し (24年度)
4	備蓄物資の整備(寝袋)	47,200人分	87,200人分	110,700人分			110,700人分
土砂災害ハザードマップ作成							
5	土砂災害危険箇所のうちハザードマップを作成する箇所数	27ヵ所	124ヵ所	158カ所			429ヵ所
防災行政無線更新整備事業							
6	既存無線システムを対象とした更新	—	基本設計	実施設計			基地局5台 統制局2台
防災普及啓発事業							
7	上級防災リーダー研修に参加した人数(累計)	—	—	30人			100人
8	防災教育の推進を実施した学校数	—	—	—			全小中学校
災害時における活動支援教育事業							
9	災害時における活動支援教育を受けた中学生等の数	100人	1,000人	22,131人			8,000人
札幌市民防災センターリニューアル事業							
10	来館者数	66,521人	70,936人	73,715人			80,000人
多文化共生推進事業【再掲】							
11	主要避難所の多言語表示等の整備	—	整備中	整備			整備 (24年度)
地域による防災力強化支援事業							
12	自主防災訓練などの地域防災活動に取り組む地区の数	—	—	92地区			200地区

政策目標	2	安心して暮らせるぬくもりの街
重点課題	1	市民とともに災害に備えるまちづくり

達成目標の状況

事業名 達成目標		22年度末（現状値）	23年度末（実績値）	24年度末（実績値）	25年度末（実績値）	26年度末（実績値）	26年度末（目標値）
施策2　災害に強い安全なまちの整備							
市有建築物耐震化の推進							
13	耐震化に着手した施設数（学校等を含む。累計）	87施設	121施設	161施設			194施設
市有建築物の改築等【再掲】							
14	エレベーター設置未着手の地区センター数	7ヵ所	6ヵ所	5カ所			3ヵ所
15	区役所への非常用発電設備設置数	—	—	2ヵ所			5区役所
学校施設耐震補強事業							
16	緊急5カ年計画以降で耐震補強が必要な学校施設の工事完了数（累計）	—	11校	33校			99校
学校施設改築事業【再掲】							
17	計画期間内に着手する学校数（累計）	—	2校	5校			12校
（仮称）白石区複合庁舎整備事業【再掲】							
18	（仮称）白石区複合庁舎の整備	—	基本計画策定	基本設計、民間事業者公募			着工
災害に強い道づくり事業							
19	災害に強い橋りょうの割合	65%	67%	70%			84%
下水道施設の災害対策							
20	水再生プラザの耐震化	4ヵ所	7ヵ所	7ヶ所			7ヵ所
21	管路の耐震化	27ヵ所	42ヵ所	52ヶ所			87ヵ所
22	バックアップシステムの構築	59%	60%	65%			84%
緊急貯水槽整備事業							
23	緊急貯水槽設置数	33ヵ所	33ヵ所	33カ所			37ヵ所
24	応急給水対応人口	899,000人	899,000人	899,000人			943,000人
水道施設耐震化事業							
25	耐震化した施設の数	—	—	—			6施設
26	配水池耐震施設率	60.2%	65.6%	66.5%			82.4%
災害時重要施設（医療機関）へ向かう配水管の耐震化							
27	供給ルートが耐震化されている札幌市災害時基幹病院等の数	12ヵ所	15ヵ所	19カ所			29ヵ所
交通局建築施設の耐震化事業							
28	地下鉄高架駅の耐震改修工事の実施	—	0駅	0駅			2駅
民間建築物耐震化促進事業							
29	民間建築物（木造以外）の耐震診断補助件数（累計）	47件	58件	72件			167件
本庁舎非常用発電設備更新整備							
30	本庁舎非常用発電設備の更新整備	—	工事着手	更新完了			更新整備（24年度）
収容避難施設の防災機能の強化							
31	体育館の高断熱化実験	—	—	—			実証実験
震災時における消防体制強化事業							
32	震災に備えた消防活動体制の整備	—	—	一部整備			整備
石狩振興局管内消防救急デジタル無線共同整備事業							
33	消防救急デジタル無線システム構築	実施設計	機器製造 工事施工	機器製造 工事施工			運用開始（25年度）
消防指令システム整備事業							
34	消防指令システム構築	実施設計	機器製造 ソフトウェア開発	機器製造 ソフトウェア開発			運用開始（25年度）
地下水活用システム整備事業							
35	災害時における飲料水の確保	—	—	リースによる整備			整備（24年度）

政策目標	2	安心して暮らせるぬくもりの街
重点課題	1	市民とともに災害に備えるまちづくり

さっぽろ"えがお"指標の動向

さっぽろ"えがお"指標 実績値の推移に係る検証		（現状値）	23年度末（実績値）	24年度末（実績値）	25年度末（実績値）	26年度末（実績値）	（目標値）
市民意識・行動指標							
18	災害に対する備えを行っている家庭の割合	61.4%（21年度）	71.2%（23年度）	72.8%（24年度）			70%（26年度）
		東日本大震災以降、市民の防災意識が高まるなか、普及啓発用パンフレットの配布や出前講座等の防災普及啓発の取組が、数値の上昇に寄与したものと思われる。					
19	よくやっていると思う施策（市政に対する評価）のうち防災対策に関すること	3.3%（21年度）	2.4%（23年度）	2.8%（24年度）			10%（26年度）
		札幌市民防災センターのリニューアルや、大規模災害時に対応する「特別消防隊」の創設などの新たな事業に着手したことが、実績値増につながったと推察される。					
社会成果指標							
20	災害に備えた活動を行っている自主防災組織の割合	76%（20年度）	82.7%（23年度）	85.1%（24年度）			90%（26年度）
		東日本大震災以降、市民の防災意識が高まるなか、各区における防災リーダー研修の実施など防災普及啓発の取組が、地域での活動に結びついていると思われる。					
21	防災意識を高める活動（DIG、出前講座など）に参加した人数	8,480人（22年度）	12,490人（23年度）	12,028人（24年度）			10,000人（26年度）
		パンフレット配布や出前講座等の防災普及啓発の取組が機能し、昨年度同様、多くの市民が参加している。なお実績値の微減は、総合防災訓練実施区の交代等が要因と考えられる。					
22	地震時に特に配慮が必要となる施設（社会福祉施設、医療施設など）の耐震診断実施率	9.8%（21年度）	14.1%（23年度）	15.6%（24年度）			30%（26年度）
		耐震診断補助事業の活用と、解体・建替えなどが進んだことによる旧耐震基準の建築物の減少により、実績値の上昇につながっていると思われる。					

注：番号は、さっぽろ"えがお"指標の通し番号

政策目標	2	安心して暮らせるぬくもりの街
重点課題	1	市民とともに災害に備えるまちづくり

事業実績、評価と反省、今後の取り組み等

施策1　地域防災力を終結した災害対策

24年度の主な取組内容（実績）

地域防災計画（原子力災害対策編）の策定。	札幌市避難場所基本計画を策定し、寝袋等の備蓄物資を追加整備。
澄川地区、山の手地区の土砂災害ハザードマップを作成。（34か所）	札幌市民防災センターをリニューアルオープン。（津波・暴風・地震等の体験コーナーを新設・更新）
外国人が避難所で必要となる情報を多言語で掲示するため「避難所多言語シート」を作成。（英語、中国語、ハングル語、ロシア語など）	地域で実施する防災訓練やDIG等、防災の取組に対する支援を実施。（92連合町内会、796単位町内会）

25年度の主な取組内容（予定）

津波対策のためのパンフレット「津波を知ろう」の配布。	災害等に備え、備蓄物資（毛布・食糧）を追加整備。
南円山地区、山鼻地区など6地区の土砂災害ハザードマップを作成。（109か所）	災害発生時の避難場所や災害に対する備えなどを多言語で掲載した防災マップを作成し、外国籍市民に配布。
地域で実施する防災訓練やDIG等、防災の取組に対する支援を実施。	防災教育用教材を各小中学校に配布。

施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価と反省

【土砂災害ハザードマップ作成】土砂災害ハザードマップの配布・普及啓発を推進したことで、家庭での防災意識向上に寄与したと思われる。
【防災普及啓発事業】上級防災リーダー研修の実施や各区での防災リーダー研修の実施等が、災害に備えた活動を行う自主防災組織の割合増加に貢献したと思われる。

施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の達成に向けた今後の事業の取り組み

【防災普及啓発事業】防災教育用教材を各小中学校に配布し活用してもらうことで、児童・生徒の防災意識向上、さらには各家庭の防災意識向上を図る。
【札幌市民防災センターリニューアル事業】札幌市民防災センターの周知と利用促進を進め、防火・防災について多くの市民に学んでもらうことで、市民の防火・防災意識向上へとつなげていく。

施策2　災害に強い安全なまちの整備

24年度の主な取組内容（実績）

北、東、西の各区役所や青少年科学館などの耐震化工事実施設計。北区役所別館の耐震化工事を開始。	学校36校の耐震化工事を進め、そのうちの22校が竣工。
橋りょうの長寿命化工事を実施し、6橋完了。 橋りょうの耐震補強工事を実施し、4橋完了。	緊急貯水槽設置のための土質調査および実施設計。
市役所本庁舎の非常用発電設備の更新整備完了。	消防救急デジタル無線システム構築に向けた無線機器の製造や工事を実施。

25年度の主な取組内容（予定）

北、豊平、南の各区民センターや厚別区体育館などの耐震化工事実施設計。北、東、西の各区役所や青少年科学館などの耐震化工事を実施。	学校43校の耐震化工事を進め、そのうち25校について竣工。
橋りょうの長寿命化工事を実施し、22橋完了。 橋りょうの耐震補強工事を実施し、2橋完了。	緊急貯水槽の設置工事（2か所）を実施。来年度における緊急貯水槽設置のための土質調査（2か所）および実施設計（3か所）を実施。
石狩振興局管内での消防救急デジタル無線システムの運用開始。	

施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価と反省

【学校施設耐震補強事業】災害時の避難所となる学校施設の耐震化により、各地域における防災意識の向上を図ったが、一方で事業半ばであり耐震化が完了していない学校も残っているため、可能な限り早く事業を進めていくことが必要である。
【本庁舎非常用発電設備更新事業】本庁舎の非常用発電設備の更新整備実施により、災害対策拠点としての機能の充実強化が図られ、災害に強い安全なまちの整備に貢献した。

政 策 目 標	2	安心して暮らせるぬくもりの街
重 点 課 題	1	市民とともに災害に備えるまちづくり

施策2　災害に強い安全なまちの整備

施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の達成に向けた今後の事業の取り組み

【災害に強い道づくり事業】市民の安全・安心確保のため、橋りょうの補修および耐震補強工事を着実にかつスピード感を持って実施し、計画的な防災対策を進めていく。
【緊急貯水槽整備事業】緊急貯水槽整備を進めるとともに、ホームページやパンフレット、出前講座等を活用して、家庭での飲料水備蓄など災害への備えに対する市民への啓発活動をより拡充して行っていく。

協 働 の 状 況

【地域防災計画修正】原子力災害対策編の策定において、原子力防災に係る市民意識や関心を高めるためのフォーラムを開催するとともに、パブリックコメントを実施した。

【土砂災害ハザードマップ作成】ハザードマップ作成時は、住民意見交換会を開催し、可能な限り意見を反映させた。また、マップ作成後は住民参加の訓練等を行う。